

特定非営利活動法人ひらかた市民活動支援センター

2024年度 事業報告

2024年度事業報告

2024年度は、関係各位のご理解・ご協力のもと、無事に事業を進めることができました。

特に「情報発信」に力を入れて、プレスリリースの実施やアニュアルレポート(年次報告書)の作成、公式LINEの運用、会員及び登録団体ではない市内NPO法人への情報提供などを実施しました。今後も、この会の取り組みをより多くのNPO・市民等に知っていただくべく情報発信に力を入れて取り組んでまいります。

また、「相談日の定例化(相談ができることの明示)」や「利用についての説明会」を開催し、NPO・市民活動に関する相談をしやすい環境づくりを目指した工夫を行いました。

事業の推進とともに、事業全般についての見直しにも取り組み、その結果を2025年度事業に反映をさせています。

法人の運営においても適正かつ時流に合わせた運営ができるよう取り組みました。24年度定時総会で承認を受けた定款変更は24年8月に変更の認証を受けています。その他、詳細につきましては2024年度事業報告(案)をご覧ください。

2025年度につきましても、各事業を通じて、中間支援組織としての役割をより一層果たしていきたいと考えていますので、皆様のご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

事業名	サブリ村野受付事業
事業目的・趣旨	①枚方市公共スポーツ施設及び文化施設の運営管理を行う ②利用者が安全に利用できる配慮を行う ③利便性向上のために担当課と協議を行う
本年度重点取り組み	キャッシュレス決済導入への対応

関係課との調整・対応 受付業務サポート 備品管理	①サイボウズ Office を活用し、受付職員のシフト確認や変更についてスムーズに対応できた。 ②スポーツセンターの備品について、所長の依頼をもとに、予算内で適切に購入し対応できた。 ③8 月 5 日に、サブリ村野運営にかかる会議が開催され、課題や検討事項の共有を行った。 ③備品管理については、常日頃倉庫の整理をし、準備・片付けがしやすいように工夫していく。 ④休日等の有事などに対して、所長と関係各課と連携しながら対応できた。 ⑤長期利用室の退居団体や新規団体に対し、適切に対応できた。 ⑥雨漏り工事の期間（11 月 1 日～2 月末）まで、第二駐車場の一部が利用できなくなった。
日々管理/利用者対応	①5 月 16 日からのキャッシュレス決済運用に向けて、4 月 26 日にキャッシュレス決済の説明会を開催。受付職員とともに、レジの使い方やお釣りの金額などの利用者対応についてマニュアルをまとめた。 ②4 月以降に女子トイレでたびたび見かけられた不審者に対して枚方警察署に相談し夜間の巡回をしていただいた。同時に、不審者に対する警告看板を館内に設置した。 ③スポーツ振興課からの依頼で、9 月の 1 カ月間、運動広場の「15 時～17 時」利用者を対象に 18 時までの利用延長を試行。また、同時間帯の利用者にアンケート調査を行った。また、同様のアンケートを 3 月～4 月末にかけても実施した。 ④8 月末の台風接近時に、利用予約者に対して施設利用に関して架電などの対応を行った。
利用実績集計	2024 年度の利用状況は、以下の通り。 N P Oセンター：2024 年度平均利用率 49.6%（2023 年度平均 49.7%） スポーツセンター：2024 年度平均利用率 84.5%（2023 年度平均 83.1%）

2024 年度報告

No.	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	業務管理、備品管理 関係課との調整・対応	随時対応											
2	日々管理/利用者対応	随時対応											
3	月切り集計(利用実績)	報告	報告	報告	報告	報告	報告	報告	報告	報告	報告	報告	報告

事業名	情報発信と管理事業
事業目的・趣旨	①市民活動や市民活動団体に関する情報発信を行う ②助成制度など市民活動団体の活動支援に資する情報の収集と提供
本年度重点取り組み	ホームページのリニューアルに向けた、構成・内容の具体化

HP 管理	①新しいホームページへの移行準備のため、大きな変更は行っていない。 ②日々のお知らせページを中心に随時、ページ更新を行った。
新HP・ブログへの移行検討	①ホームページ作成サービス「Jimdo(ジンドウ)」の利用に決定し、試作を開始した。 ②メニュー構成を検討し、現在のワードプレス内のコンテンツ移行を進めている。2025 年度下半期に移行完了を目指す。
DB 管理（登録団体）	①今年度の登録団体情報に更新済。別途、一覧の PDF データを作成し、9 月に公開した。 ②新規団体の登録時などに、情報の追加や更新を行っている。
DB 管理（助成金）	助成金情報を、毎月更新している。
市内 NPO 法人への情報提供	11 月に枚方市内の 59 の NPO 法人（当センター会員団体・登録団体を除く）に市民活動ネットワークルームの利用についての情報を送付した。団体登録の方法について問い合わせがあった。
FB・インスタ・X 管理	この会や登録団体の講座・イベントの告知などを随時投稿した。公式 LINE アカウントやホームページなどとの連動を試みながら、新規フォロワーの獲得につなげた。
情報紙「ひらせんナビ」	毎月末に発行。会員・登録団体より掲載希望を聞き、この会からの情報と共に掲載している。 各公共施設へ配架をお願いする他、ホームページでは PDF 形式で公開している。 掲載団体：38 団体 掲載件数：128 件 希望があった団体には、当センターの SNS にも情報を掲載した。

2024 年度報告

No.	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
5	ホームページ管理	随時更新											
6	新HP・ブログへの移行検討			サイトマップ検討		デザインコンセプト検討				サイトマップ検討			
7	DB 管理（登録団体）					年度更新							
8	DB 管理（助成金）	更新	更新	更新	更新	更新	更新	更新	更新	更新	更新	更新	更新
9	DB 運用拡充		図書情報更新と移行										

2024 年度報告													
No.	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
10	市内 NPO 法人への 情報提供								発送				
11	Facebook・ Instagram・X 管理	随時投稿											
13	情報紙「ひらせんナビ」	発行	発行	発行	発行	発行	発行	発行	発行	発行	発行	発行	発行

事業名	学びの広場事業
事業目的・趣旨	①市民活動への参加促進や市民活動団体の円滑な団体運営の推進に資する研修機会を提供する ②市民活動団体に対して講座等の開催の機会を提供し、市民活動の活性化と自立を支援する
本年度重点取り組み	①NPO や市民活動を担う人材を育成するためのボランティア講座や説明会を開催する。 ②団体向けに、ICT を活用するための講座を開催する。
NPO 講座	①5月18日と12月14日に「NPO 基礎講座」と「NPO 法人格取得のための講座」を実施し、のべ32人が参加した。 ②次年度の講座計画策定に役立てるため、他センター主催の講座に参加した。
マネジメント講座	①6月21日に、登録団体対象の「ぷちサロン♪はじめての Google フォーム体験会」を実施。ここでの団体の反応を得て、7月の講座へ引き継ぐことができた。 ②7月13日に、Google 活用講座として「初めての Google フォームで講座申込、アンケートづくり」、8月10日「初めての Google サイトでホームページづくり」を実施。フォームやホームページづくりなど、講座後に各講師への相談対応につながった。 ③9月14日に、資金調達講座として「市民活動のための助成金講座」を実施。昨年に引き続き、実際の経験者に話してもらったことが大きく、助成金申請への挑戦を促すことができた。 ④1月11日・25日に NPO・市民活動のための広報スキルアップ講座「Canva で簡単！チラシづくり」実施。2回に分けて実施することで実際に作成し実践できるところまでできた。 ⑤3月7日に登録団体対象の「ぷちサロン♪はじめての Google フォーム体験会」の第2弾を実施予定。登録団体の更新時期なので、フォームを使って更新作業の体験をしてもらう。 ⑥3月15日に NPO と市民活動のための Google 活用講座の第2弾として、「Google フォーム実践編」を実施予定。7月の開催後、相談や再度開催への要望もあり、年度末に追加開催を行った。
市民向け講座 (ボランティア講座)	①ボランティア講座を7、9月に分けて開催。7月の講座では、登録団体などを招いて団体紹介の場を持つことができた。 ②9月は「NPO フェスタボランティア説明会」として開催し、新規の参加者がボランティアとして長期に活動する契機となった。 ③大阪北部地震発災日の6月18日に「みんなの防災」を開催。能登半島地震の現状を学び、防災グッズなどの備えを確認・体験することで、市民とNPOが防災・減災を身近に感じ、共に考えられる機会となった。 ④2月8日に阪神淡路大震災から30年目に考える「みんなの防災」第2弾を開催。クロスロードで災害時の行動をシミュレーションするという内容で、参加者からのいろんな考えや意見を共有でき、実りある講座となった。 ⑤3月20日にボランティアに興味のある方と登録団体・この会をマッチングする「ボランティア交流会」を開催。登録団体は団体や活動の認知につながり、興味層の市民はボランティアの考え方や情報を知る契機となった。
サブリ村野学校	①今年度は早期に案内ができたため、4月から実施ができた。21 団体が、36 講座を実施。実施が2回目以降の団体は、定員を超える参加者を集められるようになってきた。 ②次年度の募集要項を早期に決められたので、年度末時点で5月分までの募集を行っている。

2024 年度報告													
No.	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
14	NPO 講座		5/18 基礎 法人格							12/14 基礎 法人格			
15	マネジメント講座			6/21 Google フォーム 体験会	7/13 Google フォーム 講座	8/10 Google サイト 講座	9/14 助成金 講座				1/11・25 広報講座 (Canva)		3/15 Google フォーム 講座
16	市民向け講座 (ボランティア講座)			6/18 みんなの 防災	7/13 ボランテ ィア講座		9/14 NPO フ ェスタボ ランティ ィア説明会					2/8 みんなの 防災	3/20 ボランテ ィア講座
17	サプリ村野学校	3件	4件	4件	4件	5件	1件	-	6件	-	2件	2件	3件

事業名	防災災害支援事業
事業目的・趣旨	①防災に関する調査研究と成果の発信を行う ②防災に関する事業の企画・実施及び実施に伴う関係機関との連絡調整を行う ③被災地に対する継続的な支援を行う
本年度重点取り組み	能登半島地震の支援活動に取り組む団体の支援
防災小学校	①5月12日に淀川河川公園で実施された外部イベント「みて！まなんで！遊びながら防災たいけん」では、大阪国際大学の学生と防災プログラムを実施。親子連れが多かったので、学生たちにも楽しんで取り組んでもらえた。 ②防災小学校事業として、各校区の自主防災訓練や小中学校の防災キャンプ等に9箇所を実施。それぞれの対象に合わせたプログラムをブラッシュアップして実施できた。
防災講座・交流会	①6月18日の大阪北部地震発災日に、「みんなの防災」を実施。枚方市の職員から、能登半島地震の支援活動の話聞き、また講座内でトイレの吸水実験等を通して、災害時のトイレ事情について考えるきっかけとなった。 ②11月24日の枚方市防災訓練「ひこ防'z」では、市社協とともに、災害ボランティアセンター図上訓練を行った。 ③2月7日に市社協主催の「災害ボランティアセンター設置運営シミュレーション」に、運営委員2人、職員2人が参加した。市社協職員や他市の社協職員と共に訓練参加しながら課題の確認等を行った。 ④2月8日に「みんなの防災」第2弾を開催。クロスロードで災害時の行動をシミュレーションする中で、参加者からのいろいろな考えや意見を共有でき、今後へのつながりが期待できる講座となった。 ⑤2月25日に、NPOと行政の意見交換会（防災交流会）を開催。危機管理部、市民活動課、この会の三者で行い、それぞれの活動の状況や方向性、課題などを共有した。
被災地支援(物産販売)	①5月19日に実施された「とっておきの音楽祭」には、物産販売で参加。今年は能登半島の物産も販売することができた。 ②10月20日の「サブリ村野 NPO フェスタ 2024」には、物産販売で参加。この会のボランティアを中心に、東北・熊本・能登半島の物産を販売した。 ③3月10～17日に、サブリ村野市民活動ネットワークルーム及びフリースペースで東日本大震災写真展を実施した。 ④引き続き、大規模な災害が発生した際には、支援（物産販売や支援金の募金など）をしていく。

2024年度報告

No.	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
18	防災小学校			6/28 2回目の小学校			9/7 樟葉南校区 9/28 小倉校区		11/23 津田小 11/30 桜丘校区	12/13 第三中		2/2 津田校区 2/24 明倫校区	

2024 年度報告													
No.	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
19	防災講座・交流会 (防災イベントの 参加)		5/12 淀川河川公園 防災イベント	6/18 みんなの 防災								2/8 みんなの 防災 2/25 行政との 交流会	
20	被災地支援 (物産販売等)		5/19 とっておき の音楽祭					10/20 NPO フェスタ					3/10~17 被災地 写真展

事業名	多様な人たちが市民活動に参加する機会の提供
事業目的・趣旨	市民活動に参加する(知る)機会を提供し、市民活動に関わる人を増やす
本年度重点取り組み	①ボランティア体験に参加した後のフォローアップを検討する ②まちづくり井戸端会議への新たな参加層を取り込む

若者が行う社会体験活動のサポート	夏期と春期に「ボランティア体験」を実施。今年度より、中学生以上の学生に加えて、30歳未満の若者にも参加対象を拡大した。2期の合計で、30団体54プログラム(校区コミュニティを含む)、参加申込総数は合計503件、のべ参加人数は合計470人で、いずれも過去最多となった。学籍を持たない若者の参加や、大学生の参加者数の増加など、幅広い年代の参加につながった。
まちづくり井戸端会議	毎月1回、平日版と土曜版のいずれかを開催。土曜版の実施は女性や若者など、新たな参加者層の獲得につながったものの、参加者の増加にはつながらず、総合的な判断により、2025年3月をもって終了する運びとなった。

2024 年度報告

No.	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
21	若者が行う社会体験活動のサポート			夏ボラ 体験募集	夏の ボランティア体験 (7月下旬~8月下旬)							春ボラ 体験募集	春のボラ ンティア 体験
22	まちづくり井戸端会議	平日版 実施	休日版 実施	平日版 実施	休日版 実施	休日版 実施	平日版 実施	休日版 実施	休日版 実施	平日版 実施	休日版 実施	休日版 実施	平日版 実施
23													

事業名	多様な主体(NPO、コミュニティ、学校、企業、行政等)との協働事業の企画・調整・実施事業
事業目的・趣旨	多様な主体(NPO、コミュニティ、学校、企業、行政等)が協働した事業を実施するための研修・研究、企画・調整を行う
本年度重点取り組み	セクター間の橋渡しを意識したコーディネートを行う

NPO と行政の意見交換会	2月25日に、NPO と行政の意見交換会（防災交流会）を開催。危機管理部、市民活動課、この会の三者で行い、それぞれの活動の状況や方向性、課題などを共有した。
市駅周辺社会実験	今年度は、開催がなかった。
教育活動のサポート (さだ中)	学校の担当者と、NPO や行政・企業などの団体を、上期にコーディネートした。10月に団体からの情報提供、12月に生徒からのプレゼンが行われ、いずれも9団体が出席した。
教育活動のサポート (香里丘高)	実施に向けて市民活動課のサポート及びフィールドワーク等に参加した。

2024 年度報告

No.	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
24	NPO と行政の 意見交換会											2/25 危機管理 部	
25	市駅周辺社会実験												
26	教育活動のサポート (さだ中)	担当者 顔合わせ			団体への 参加依頼	参加団体 の確定		10/9 団体から 情報提供		12/5 発表と講 評	振り返り	→	次年度に 向けて
27	教育活動のサポート (香里丘高)			6/13 高校訪問	7/22・ 23・25 フィール ドワーク			10/3 成果発表 会					

事業名	相談・ネットワークルーム管理事業
事業目的・趣旨	①市民活動に対する相談窓口として、団体運営、法人格取得、紹介など各種相談に対応する ②NPOに関する総合情報センターとしての市民活動ネットワークルームの管理運営を行う
本年度重点取り組み	①役職員の専門性を高め、支援力向上を目指す ②中間支援組織として、必要な機能や支援(サービス)が提供できるように見直しを行う

相談対応	①6月より専門的かつ的確に対応するため、「NPO 関連」「会計・労務」「助成金」「ICT」のそれぞれの相談に対し、定例日を決めて相談対応を実施した。徐々にそれぞれの相談日に、相談対応できるようになった。 ②NPO 講座や Google 講座などと連動した相談日の対応もできるようになった。 ③職員や運営委員が、より適切に相談対応できるよう調整できた。
ネットワークルーム管理	当番ごとに、市民活動ネットワークルームの来所対応ができた。急な出張や外出に対しては、職員間で柔軟に対応できた。
図書管理	①現状を調査し、図書を整理した。 ②利用を促進するため、図書情報の発信（データバンク内に図書情報を公開）、図書の管理方法、貸出対象者、貸出方法の見直しを行った。（10月1日改定）
チラシ配架	①生涯学習市民センター等でのチラシの配架状況を確認し、ファイルにファイリングされることなどを利用団体へ伝えた。 ②移動、廃止、新設された公共施設に対して、配架方法や部数の調整を行った。
業務・対応のマニュアル化(標準化)	①今年度は図書の大幅な整理に伴い、閲覧や貸出マニュアルを再編成した。 ②相談対応のサイボウズへの入力の文言合わせなどを整理した。 ③言語化できていない業務のマニュアル化を引き続き進めていきたい。
定期的な相談日の設定	上記、相談対応を参照

2024年度報告

No.	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
28	相談対応	随時対応											
29	ネットワークルーム管理	随時対応											
31	図書管理				リスト修正	図書紹介方法の検討・実施							貸し出し状況集計

2024 年度報告													
No.	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
32	チラシ配架	随時受付/週 1 回配架作業											
					利用説明	配架調査							
34	業務・対応のマニュアル化(標準化)												
35	定期的な相談日の設定		相談日案 設定	試行	調整	実施	—————▶						

事業名	フェスタ事業
事業目的・趣旨	①枚方市を中心に活動する NPO の元気さと有用性を地域社会に発信する ②NPO・市民活動団体が相互に支え合う仕組みづくりの一機会とする ③多様な人々の市民活動への参画と協働の場として持続可能な地域社会づくりを目指す。
本年度 重点取り組み	NPOフェスタを開催することの意義を踏まえて内容を検討する

- ①「ひらかた万博」パビリオン事業への参加や、期日前投票の参加者へのアプローチなど、過去にはない方法で周知を行うことができた。
- ②ボランティア講座兼説明会を 9 月 14 日に開催し、説明会参加者がボランティアとして装飾などの事前準備活動を行った。継続してボランティア参加の要望があった方に、この会のボランティアに登録してもらった。
- ③37 団体 43 出展にとどまったものの、近隣校の部活動や行政課、地元の信用金庫など、幅広いセクターからの参加につながった。
- ④事務局企画として、クイズラリーと抽選会を開催。前者では約 200 名の参加者が出展場所を巡り、団体の活動に触れる機会を得た。また、後者では団体による P R タイムを設けるなど、能動的な参加者の増加につなげることができた。
- ⑤出展団体・来場者・ボランティアスタッフのアンケートの回答をもとに、運営委員会、実行委員会等で検討し、来年度の開催について協議を続けていく。

2024 年度報告

No.	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
36	サプリ村野 NPOフェスタ							10/20 開催					
	実行委員会の開催	4/27 説明会	第1回 実行委員 会発足	必要に応じて、エリア別、代表者会議等を開催				第3回 最終確認	第4回 振り返り				
	事務局の動き	会場予約 後援名義 団体エントリー	広報物の 検討		ボランテ ア講座	ボランテ ア募集	ボランテ ア説明会	直前準備	報告書の 作成	次年度 計画	次年度 開催日・ 会場の協議		次年度 開催日・ 会場の決定

事業名	自主事業												
事業目的・趣旨	この会のミッション推進と自主財源の獲得												
本年度重点取り組み	この会が提供している各種サービスの内容の見直しを行う												
NPO フェスタ(再掲)	12 ページ参照												
コミュニティ備品管理	随時、市民活動課から連絡のあった備品貸出について、受付職員が対応できた。												
備品貸出・印刷等	①依頼に応じて対応する。 ②貸出備品や拡大印刷などの価格、内容、記載方法、申込書様式の見直しを行い、周知した。(9月1日改定) ③8月3日「チラシ配架、備品の利用等についての説明会」を登録団体へ向けて行った。												
講師派遣	12月1日に、昨年度に引き続き、枚方市コミュニティ連絡協議会より、ICT関連の講師派遣の依頼があり、当センター理事を派遣した。												
会員・登録団体サービスの見直し	上記、備品貸出・印刷等を参照												
地域貢献 NPO サポートファンド	次の通り、助成・表彰を行った。 企画提案型：NPO 法人 KEY・アートクラフト First-step、活動実績評価型：アートクラフト First-step												
ソイチャレ													
支援学校実習受け入れ	①6月25日・27日・28日の3日間、枚方支援学校より、2人の男子学生の職業体験受け入れを行った。当センター以外にサブリ村野の入居団体(ひらかた環境ネットワーク会議、枚方市菊花展実行委員会、ひらかた市民菊人形の会)の皆さんにも受け入れのご協力をいただき、それぞれの団体活動の体験をしてもらった。 ②2月3日・4日の2日間、枚方支援学校より、1人の男子学生の職業体験受け入れを行った。当センター以外にサブリ村野内の入居団体(ひらかた環境ネットワーク会議、ひらかた市民菊人形の会)の皆さんにも受け入れのご協力をいただき、それぞれの団体活動の体験をしてもらった。特に菊人形の会は、実習用のプログラムを準備していただき、積極的に受け入れをしていただいた。												
2024 年度報告													
No.	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
36	NPO フェスタ(再掲)							10/20 開催					
37	コミュニティ備品管理	サブリ村野受付事務所とともに随時対応											
38	備品貸出・印刷等	随時対応											
						8/3 説明会	料金改定						

39	講師派遣									12/1 枚方市コ ミュニテ ィ協議会			
40	会員・登録団体 サービスの見直し												
41	地域貢献 NPO サポートファンド					募集要項 案確認	募集開始	1 次選考	2 次選考 贈呈式				
42	ソイチャレ			6/5 キックオ フイベン ト		8/21 アイディ アコンテ スト					1/15 チャレン ジコンテ スト		
80	支援学校実習受け入れ			実習受入								実習受入	

事業名	本部
事業目的・趣旨	法人の適正かつ時流に合わせた運営
本年度重点取り組み	①中長期プランの見直しと見直しに伴い必要な取り組みの実行 ②定款、各種規定の見直し
総会・理事会の運営	①郵便事情の変化への対応や 구글フォーム等の電磁的方法の活用を検討・実施した。 ②様式を一部変更し、より分かりやすい報告・計画となるように改善を行った。
運営委員会の運営	議案は運営委員と職員で作成し、議事録は職員で担当。Google スプレッドシートなどを使い、どこからでも、議案に追記できるようにした。
会計、契約管理、届出	滞りなく実施している。会計については、概ね各月 15 日までに月次処理を完了している。
役職員のスキルアップ	中間支援組織の在り方についての外部オンライン等の研修会に参加した。
労務管理	滞りなく実施している。 受付職員分は毎月 20 日に予定を集約し 21 日にシフト確認、25 日に確定版を作成して共有した。NWR 職員分は、毎月 21 日頃に予定を集約し当番を決め、26 日頃に確定版を作成し共有した。
アニュアルレポート (年次報告書)の作成	制作を完了した。予め制作することを念頭に置いたデータの整理、写真の確保が必要と感じた。 A4 サイズ冊子 (10 ページ) を 200 部作成した。
プレスリリースの実施	「夏のボランティア体験」開催に合わせて、プレスリリースを 1 回発信した。下期には、他の中間支援組織のプレスリリースなどを研究し、型や文体の検討を行った。
他団体への登録、 審議会等委員派遣	①枚方市施策評価員に、松元副理事長を推薦した。(令和 7 年 3 月 31 日まで) ②枚方市人権尊重のまちづくり審議会委員に、高尾理事を推薦した。(令和 6 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日) ③枚方市男女共同参画推進審議会委員に、高尾理事を推薦した。(令和 6 年 6 月 28 日～令和 8 年 6 月 27 日) 【他団体への登録】日本 NPO センター、大阪 NPO センター、大阪ボランティア協会、KNN・北摂ネットワーク 大阪災害ネットワーク (OSN)、ひらかた環境ネットワーク会議、ひきこもり等地域支援ネットワーク会議 ソーシャル・オープンイノベーションチャレンジ(ソイチャレ) 【審議会等委員派遣】枚方市技能動労者表彰審査会、人権尊重のまちづくり審議会、地域密着型サービス等運営審議会 男女共同参画推進審議会、枚方市施策評価員、枚方市社会福祉協議会、市民ふくしチャレンジ基金選考委員会 枚方フェスティバル協議会
会員・登録団体管理	更新作業を完了した。
ボランティア	①ボランティア制度の見直しに伴い、仕組みを変更した。 ②一部のボランティア活動で定例の実施日を決めることで、継続した活動参加につながっている。
中長期プランの策定	①中長期プランの策定に向けた方向性の整理を行った。 ②方向性検討のために「中間支援組織(施設)に関する調査」を実施した。

定款・規則の見直し	「登録団体の登録承認について」を定めた。												
ボランティア制度の見直し	①交通費の支給対象やルール、登録書類などの記述など、上期で変更した内容について、適宜改善を試みた。 ②一部のボランティア活動を定例日程とすることで、継続的な参加につながった。												
業務効率化の推進	次年度に向けて、見直しを行う業務の意見収集を行った												
2024 年度報告													
No.	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
43	総会・理事会の運営		総会 理事会						理事会				理事会
45	運営委員会の運営	4/8	5/13	6/10	7/8	8/8	9/9	10/11	11/11	12/9	1/10	2/10	3/10
47	会計、契約管理、届出	会計：翌 15 日までに月次処理 (5/17・6/15・7/16・8/15・9/16・10/12・11/23・1/6・2/15・3/16)/ 契約管理・届出：適時対応											
49	役職員のスキルアップ												
50	労務管理	勤怠管理システムの安定運用											
53	アニュアルレポート (年次報告書)の作成			発行		次年度分 の検討							
54	プレスリリースの実施	体制検討・準備		随時原稿を作成、掲載 (6/27「夏のボランティア体験」で初回作成済)									
55	他団体への登録、 審議会等委員派遣	推薦依頼に随時対応／委員は各自会議に参加											
57	会員・登録団体管理	更新作業										更新作業	
58	ボランティア											更新作業	
62	中長期プランの策定	方向性についての検討						素案完成	完成に向けた調整・検討				策定完了 方向性素 案の作成
63	定款・規則の見直し	定款の見直し		決裁規程をはじめとして諸規定の見直し					中長期プランに基づく定款・諸規定の見直し				
65	ボランティア制度の 見直し	見直し			運用開始								
66	業務効率化の推進	省力化ツールの導入をはじめ、効率的に業務を進められる環境整備を行う											

第23期貸借対照表

令和7年3月31日現在
 特定非営利活動法人
 ひらかた市民活動支援センター

(単位：円)

科目	金額	科目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
1 流動資産		1 流動負債	
現金預金	31,750,762	未払金	2,540,823
貯蔵品	92,916	前受金	204,500
未収入金	5,716,700	預り金	123,478
前払金	35,340	仮受金	89,000
仮払金	10,450	未払法人税等	498,700
		未払消費税等	882,800
流動資産合計	37,606,168	流動負債合計	4,339,301
2 固定資産		III 正味財産の部	
什器備品	5	前期繰越正味財産	31,656,061
		当期正味財産増加額	1,610,811
		正味財産合計	33,266,872
固定資産合計	5		
資産合計	37,606,173	負債及び正味財産合計	37,606,173

第23期活動計算書

令和6年4月1日～令和7年3月31日

特定非営利活動法人

ひらかた市民活動支援センター

(単位：円)

科目	予算額 ①	決算額 ②	差異 ②-①	備考
I 経常収益				
1 受取会費	300,000	286,500	-13,500	
2 受取寄附金	125,000	123,269	-1,731	
3 事業収益				
受託金事業収益	37,254,800	37,254,800	0	
事業収益	200,000	211,720	11,720	講座・機器利用料他
販売収益	120,000	99,150	-20,850	物産
4 補助金収益	0	0	0	
5 助成金収益	0	0	0	
6 その他収益				
受取利息	200	11,283	11,083	枚方信用金庫他
雑収入	0	0	0	
経常収益計	38,000,000	37,986,722	-13,278	
II 経常費用				
1 事業費				
(1) 人件費				
給料手当及び賞与手当	26,429,000	25,139,910	-1,289,090	
法定福利費	2,000,000	2,027,146	27,146	
福利厚生費	330,000	311,224	-18,776	中退其他
人件費計	28,759,000	27,478,280	-1,280,720	
(2) その他経費				
仕入高	105,000	79,914	-25,086	物産
広報費	200,000	240,238	40,238	求人
旅費交通費	680,000	283,940	-396,060	
通信運搬費	375,000	327,294	-47,706	
租税公課	0	0	0	
消耗品費	625,000	870,395	245,395	
事務用品費	470,000	871,725	401,725	
賃借料	305,000	211,200	-93,800	
修繕費	0	188,760	188,760	
保険料	113,000	88,100	-24,900	施設・ボランティア保険他
支払手数料	66,000	50,855	-15,145	振込手数料
図書費	43,000	16,325	-26,675	
会議費	450,000	59,362	-390,638	
外注費	835,000	292,160	-542,840	プリントバック・講師料他
フェスタ費	455,000	216,919	-238,081	
その他経費計	4,722,000	3,797,187	-924,813	
事業費計	33,481,000	31,275,467	-2,205,533	
2 管理費				
(1) 人件費				
給料手当及び賞与手当	1,500,000	1,500,000	0	総務経理対応分
福利厚生費	9,000	0	-9,000	
人件費計	1,509,000	1,500,000	-9,000	
(2) その他経費				
旅費交通費	5,000	5,220	220	
通信運搬費	95,000	35,945	-59,055	
租税公課	45,000	40,300	-4,700	
消耗品費	5,000	6,011	1,011	
事務用品費	60,000	48,180	-11,820	
賃借料	260,000	17,100	-242,900	
修繕費	0	0	0	
支払手数料	0	3,439	3,439	
減価償却費	0	0	0	
会議費	90,000	70,768	-19,232	
慶弔費	30,000	5,000	-25,000	
外注費	45,000	17,090	-27,910	
雑費	980,000	968,391	-11,609	
法人税等	150,000	498,700	348,700	法人税等
消費税等	1,700,000	1,704,300	4,300	消費税等
ふれあいファンド	500,000	180,000	-320,000	ファンド報奨金
社会企業家	0	0	0	
ポイント寄付	20,000	0	-20,000	
その他経費計	3,985,000	3,600,444	-384,556	
管理費計	5,494,000	5,100,444	-393,556	
経常費用計	38,975,000	36,375,911	-2,599,089	
当期正味財産増減額	-975,000	1,610,811	2,585,811	
前期繰越正味財産額	31,656,061	31,656,061	0	
次期繰越正味財産額	30,681,061	33,266,872	2,585,811	

財務諸表の注記

- 1 重要な会計方針
 - (1) 財務諸表の作成は、NPO法人会計基準によっています。
 - (2) 固定資産
 - ① 計上基準
30万円以上で1年以上使用見込みのものを固定資産に計上しています。
 - ② 減価償却の方法
定額法により減価償却を実施しています。
 - (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税込経理方式によっています。
- 2 減価償却累計額 1,886,293円
- 3 保証債務、担保提供資産はありません。

第23期 財産目録

令和7年3月31日現在

特定非営利活動法人
ひらかた市民活動支援センター

(単位：円)

科 目 ・ 摘 要		金額
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
	現金手許有高	223, 278
	普通預金枚方信用金庫本店営業部	23, 030, 585
	普通預金枚方信用金庫星ヶ丘支店	151, 672
	普通貯金星ヶ丘郵便局	81, 193
	郵便振替	2, 452, 833
	普通預金枚方信用金庫本店営業部 (エコポイント用)	965, 480
	普通預金枚方信用金庫本店営業部 (ふれあいファンド用)	1, 286, 908
	普通預金枚方信用金庫本店営業部 (社会企業家用)	533, 582
	定期預金枚方信用金庫本店営業部	3, 025, 231
未収入金		
	NPOサポート事業 1月～3月分	3, 918, 200
	サプリ村野受付業務 3月分	1, 798, 500
貯蔵品		
	日中貿易 マスコット	92, 916
前払金		
	スポーツ安全協会 ボランティア保険料	35, 340
仮払金		
	切手買置き分	10, 450
	流動資産合計	37, 606, 168
2 固定資産		
什器備品		
	折紙機 デュプロフォルダー	1
	カラーロール印刷機	1
	デスクトップパソコン	1
	ムラノ 紙折機	1
	きぐるみ	1
	固定資産合計	5
資産合計		37, 606, 173
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金		
	3月分人件費	2, 107, 910
	3月分社会保険料	205, 490
	3月分経費	227, 423
未払消費税等		
	確定消費税	882, 800
未払法人税等		
	確定法人税等	498, 700
預り金		
	源泉所得税	45, 335
	社会保険料	78, 143
前受金		
	第24期会費収益	204, 500
仮受金		
	市民活動課 窓口還付用	40, 000
	スポーツ振興課 窓口還付用	49, 000
	流動負債合計	4, 339, 301
負債合計		4, 339, 301
正味財産		33, 266, 872